

別紙 2 - 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年2月26日 (18:00 ~20:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	芦田・藤本・三輪・藤原・植西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	1人	1人	5人

前回の改善計画	方向性や統一処遇に向けて個別援助計画書の内容を改善していく。又職員連絡帳だけでなく、ケース会義の議事録や個別援助計画書など確認印の欄を作り回覧する
前回の改善計画に対する取組み結果	職員連絡帳の活用に関しては、適宜記録し出勤時に必ず目を通し理解することは出来ている。個別援助計画書に関しては、状態変化に応じての変更を早期に作成することが怠っていた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		3人	1人	1人	5人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		3人	1人		4人 回答なし1人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		5人			
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		3人	1人		4人 回答なし1人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初回面接では、できる限り状況把握に努め、困っていることを理解共感できるように努め、利用開始後は出来る限り不安なく利用してもらえよう声かけなど意識して信頼関係構築を心がけている。送迎時など短時間ではあるが、御家族との会話も心がけ、自宅での様子を把握し介護負担感の有無も察知しながら、職員間のミーティングで情報を共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の業務に追われ、利用者の状態変化に適宜対応するための情報共有が充分に行われず、スタッフ全員の統一した処遇が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
記録やミーティングの徹底により、スタッフ全員が本人理解を深められるようにする。朝の引継ぎ時での情報共有や対応についてのミーティング内容もその場にはない職員全員が確認できるよう適宜連絡帳に記録し、統一したケアを行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月26日 (18:00 ~20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 芦田・藤本・三輪・藤原・植西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	3人	人	4人 回答なし1人

前回の改善計画
利用者の情報や思いをケース会議で話し合い共有する。また知り得た希望を連絡帳などで担当職員に伝える
前回の改善計画に対する取組み結果
時間をかけたケース会議の開催があまり出来なかったが、引継ぎのミーティングや連絡帳にて、情報共有を計った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2人	3人		5人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		3人	2人		5人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1人	4人		5人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		1人	1人	2人	4人 回答なし1人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
関わりの中で、一人ひとりの「～したい」を聞けるよう声かけしている。又、利用時には、日々の達成感を抱いてもらえるような支援を心がけている。把握した情報は出来る限り連絡帳に記入すると共に、スタッフ間で情報共有できるように朝礼等のミニミーティングで情報共有を計っている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
認知症の方のアセスメントシートとして、センター方式の活用を検討している段階であり、個々の利用者の多方面にわたってのアセスメントが充分に出来ているかは不安がある	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・アセスメントシートを活用し、利用者・家族の思いを文章化できる ・いつも、「～したい」を聞き取れるよう意識し、特に個別に関わる入浴介助の際や送迎の車の中などリラックスできる雰囲気の中で知り得た情報は、職員間で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月26日 (18:00 ~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 芦田・藤本・三輪・藤原・植西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	1人	1人	5人

前回の改善計画

職員はコミュニケーションの中で、自宅での状況などの情報を把握し、介護支援専門員は送迎以外で自宅への訪問が行えるよう時間調整を行い自宅での状況を把握するよう努める。対応が個々の判断になっている為、個別援助計画書などを活用し統一処遇が行えるようにする

前回の改善計画に対する取組み結果

出来る限り本人の気持ちを引き出し、状況把握に努める姿勢は見られたが、職員の入れ替わり等にて、適宜個別援助計画書の作成が出来ておらず、スタッフ個々の判断にてサービス提供している部分もあり、統一した処遇に欠けていた面もみられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1人	3人	1人	5人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		4人		1人	5人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?			3人	2人	5人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1人	3人		1人	5人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		2人	2人	1人	5人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

送迎時には、ご家族との会話を通じて自宅での様子を把握すると同時に介護者にもホッとさせて頂けるような言葉かけを心がけた。体調などの変化については気づいた時に看護師はじめ他の職員と情報共有しながら、状態に応じた食事や入浴などを相談し提供している。同時にかかりつけ医への相談及び受診介助などを行っている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご本人を理解する為にその方の生活史を出来る限り理解したいと関わっているが「以前の暮らし方」が10個以上を上げるのが難しい方がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・アセスメントシートを活用し、利用者の人生を理解し、現状のその方の力を理解できる。
・過剰なケアでなく、利用者の意欲を引き出し、自発性を促せるケアを心がけるために、その日の変化など職員間の情報共有を確実に行う

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月26日（18:00～20:00）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 芦田・藤本・三輪・藤原・植西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	各職員が自分の住んでいる地域を知り、社会資源を把握する
前回の改善計画に対する取組み結果	社会資源の情報把握が未だ不十分だと感じる。特に独居の方の担当民生委員とは随時連携していきたいと考えているが、全ての方には連絡が取れていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		1人	4人		5人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		2人	1人	1人	4人 回答なし1人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		1人	4人		5人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1人	2人	2人	5人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・見守りサポートや民生委員、SOS ネットワーク利用の方の関係機関との連携などは少しずつできている。・何かあれば、家族にも協力していただけるよう連絡をとっている。送迎時などの会話で生活の状況を把握するよう心がけている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍でもあり、地域の方との交流が不足していた。・自分の住んでいる地域の社会資源を知ることが積極的に取り組むことが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の方との交流機会には、率先して参加できるようにする。そのためにも、地域の情報収集には、いつも心がける	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月26日（18:00～20:00）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 芦田・藤本・三輪・藤原・植西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	1人	4人	5人

前回の改善計画	地域イベントの参加、地域との接点を持つなど地域資源を知り、活用していく為の関係性を作っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍で地域のイベントは殆ど開催されず、交流の機会は感染のリスクを伴う為、参加はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？			2人	2人	4人 回答なし1人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		5人			
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？		1人	3人	1人	5人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？		2人	3人		5人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ニーズに合わせて、サービスを組み合わせ柔軟に対応している。介護記録に変化など細かく記録するように努め、各自がきちんと記録に目を通し、適宜職員同士で再確認し合っている。 ・独居で見守りサービスを利用されている方があり、利用状況等担当者から聞き取り連携できるよう心がけている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源の活用に関しては、自分達の持っている情報量も少なく、効果的に活用が出来ていない。地域のつながりや助け合いの状況を十分に把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・体調変化に合わせ、柔軟な対応が出来るよう、主治医・看護師等との連携をより一層深める。又、各利用者と地域とのかかわりの状況を会話の中で情報収集していく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月26日 (18:00 ~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 芦田・藤本・三輪・藤原・植西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	3人	2人	5人

前回の改善計画
地域イベントの情報を収集し、イベント参加へ向けて計画を立てていく

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍の為、地域のイベントは殆ど無く、当事業所建屋内での認知症カフェには参加し、地域の方々との交流が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		1人	1人	2人	4人 回答なし1人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1人	1人	2人	4人 回答なし1人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?			2人	3人	5人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				5人	5人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・人権フェスタへの作品出品や見学に行くことができた。
- ・認知カフェへの参加。
- ・認知症カフェの連絡会やキャラバンメイトの連絡会に参加し、地域の課題等話し合っている。地域の認知症サポーター養成講座 (1回) を担当し、地域の認知症理解を深めていく活動にわずかだが協力している
- ・街づくり協議会と共に、いきいき塾の活動を行っている。(古市・味間・城南・雲部校区)

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域の高齢者が主催されている句会に月1回会場提供しているが、その参加者と殆ど交流ができていない。

コロナ禍の為、イベントも少なく参加する機会が殆ど持てなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

地域の社会資源の一つとして地域住民に認識してもらえるよう、機会あるごとに参加する。又、発行している通信を地域にも発信していく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月26日（18:00～20:00）

7. 運営

メンバー 芦田・藤本・三輪・藤原・植西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	1人	2人	2人	5人

前回の改善計画	地域イベントの参加などで地域の方との接点を増やす。又御家族などからの苦情や要望を活かし運営につなげる。認知症カフェや運営推進会議など職員の参加を行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	顧客満足度調査として、御利用者家族にアンケートを実施し、業務の改善に努めている。開催された認知症カフェには、職員も参加している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		1人	2人	2人	5人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		2人	2人		4人 回答なし1人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？			2人	2人	4人 回答なし1人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？			2人	2人	4人 回答なし1人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき塾（介護予防活動）や認知症カフェの活動にて街づくり協議会等との関係性を築いているところである。 ・利用者・ご家族へのアンケートを実施し意見を伺うことが出来、スタッフ紹介等の工夫をすることができた。又、利用中の様子等を伝えるために、通信を定期的に発行することが出来た。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ、この施設がどんな所であるかを、地域住民の認識は薄いと感じているが、地域に向けて発信することが出来ていない。 ・コロナ禍のなかで、運営推進会議を開催する機会が1回だけで、その他は書面でのやり取りになったため、具体的な話し合いが出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域イベントの参加などで地域の方との接点を増やす。又顧客満足度調査は継続しながら御家族などからの苦情や要望を活かし運営につなげる。認知症カフェや運営推進会議など職員の参加を行っていく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月26日（18:00～20:00）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 芦田・藤本・三輪・藤原・植西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	3人	2人	5人

前回の改善計画
年間の計画で研修会を開催していく

前回の改善計画に対する取組み結果
職員（管理者）の交替があり、改善計画がきちんと引き継がれていなかった為、研修を計画的に実施することは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか			1人	4人	5人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1人	2人	2人	5人
③	地域連絡会に参加していますか		2人		3人	5人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		1人		4人	5人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・介護福祉士国家試験受験者2名。又、受験資格を得るため、初任者研修等を受講していた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ヒヤリハットの報告が少ない。積極的に提出されていない現状がある。
・職場内の研修の機会が少なかった。外部の研修も、コロナ禍で中止されることも多く、参加できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・気づきを大切に、小さなことでもヒヤリと感じたことは報告書を作り、早期に検証して、全職員に周知・啓発することで、リスクマネジメントに取り組む

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年2月26日 (18:00 ~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 芦田・藤本・三輪・藤原・植西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	人	1人	4人 回答なし1人

前回の改善計画	身体拘束廃止や虐待の研修を計画し、知識向上と自己研鑽を行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	・「虐待の芽のチェック」を各自で実施し、自分のケアを振り返る機会を持てたが、虐待の研修開催までは出来ていない。 ・権利擁護のセミナーに参加していたが、コロナ禍で研修自体が中断されている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	4人	1人			5人
②	虐待は行われていない	2人	3人			5人
③	プライバシーが守られている	1人	3人	1人		5人
④	必要な方に成年後見制度を活用している			1人	2人	3人 回答なし2人
⑤	適正な個人情報の管理ができている		4人		1人	5人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・個人記録ファイル等は、1箇所にとどめられている。 ・排泄の介助・入浴の介助の際には、プライバシーに配慮して、恥ずかしいと思われないよう心がけている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・言葉かけなど不適切だと感じたときに、お互いに注意し合うことが出来ていない。 ・リビング中に聞こえる声で、処遇内容や利用者の状態などスタッフ間で話していることがある。 ・入浴時、足浴用のお湯を確保するために脱衣所に職員が出入りすることがある。 ・重度の認知症の方の宿泊時に、安全面を優先しエレベーター前に掲示板を移動するなどの対策を講じているときもある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・タメ口などの言葉のみだれに各自が注意し、わかりやすい丁寧な言葉で対応する ・虐待や成年後見制度について、十分な理解ができるよう研修の機会を持つ。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 丹南厚生会	代表者	芝 拓哉	法人・ 事業所 の特徴	当法人は特別養護老人ホームや通所介護を運営している社会福祉法人で、当事業所は平成 29 年 12 月に開設されました。地域住民が企画されている認知症カフェの会場や句会グループの活動の場にも活用されています。さらに、市の介護予防事業の委託を受け、地域に出向いて介護予防活動を展開している拠点でもあります。 ご利用者の半数以上は独居の方であり、在宅生活を支えるために、通いと同時に訪問サービスにも力を入れております。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護センター やすらぎ古市館	管理者	植西 恵子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	1 人	人	1 人	1 人	人	2 人	人	7 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者や家族の思いを共有し、統一した処遇が行なえるように、毎月ケース会議を開催する。また、新規利用者に関しては利用日までに臨時の会議を持つようにする。	自己評価を真摯に取り組み始めたのがわかる。 新規利用者に関しては、利用日までに全職員に情報の共有を図った。	自己満足度が低いのか、評価が低い所があるが、来年度一つでも「良い」が増えるように取り組むことを目標に頑張りたい ヒヤリハット報告の提出数が少ない傾向ではないかと危惧している。大きな事故を予防していくためにも、職員一人一人のちょっとした気づきを大事にしていきたい。提出しやすい職場の環境づくりに取り組みたい	①日々の業務を通して、職員一人一人がその都度声かけ注意し合い、スキルアップの意識を持ち、業務に取り組む。 ②運営推進会議を通して、事業所の運営状況を分かりやすく多くの情報が報告できるように努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	年間を通して、利用者と共に作り上げた作品を玄関先に飾るなど、明るい雰囲気作りを行うことで家族や地域の方が入りやすい工夫をする。	・利用者のアンケート結果から、職員の紹介パネルを掲示し、ご利用者や来客者にわかりやすい工夫ができた。	・事業所に入りやすいかどうかはわからないが、地域に向けてどんな施設なのかわかりにくいこともあるのではないかと。	・環境整備を、玄関やその周辺にも気を配る。
C. 事業所と地域のかかわり	小学校の運動会やオープンスクール、発表会、コミセンなどの年間行事を聞き、参加に繋げていく。	コロナ禍でほとんど地域との交流を図る活動は出来なかった。イベントも行われなかった。	近所の方で、何の施設かわからない人もいる。まだまだ相談しやすい場所にはなっていないのでは。広報誌などを活用して「ボランティア募集」などをするのも一つの方法ではないか。 ただし、広報誌は、利用者の写真も多く、個人情報などを考えると別の媒体で PR する機会を持った方がいいのではないかと。 ・クリーンデーなどの参加も考えていきたい。←自分の自治会でも地域の会社から参加してくれている。 ・地域にも様々な特技を持っている人もいますので、事業所を会場としてイベ	(コロナ禍が落ち着いたら) 地域の交流や行事などの活動計画を把握し、積極的に参加していく 広報誌などを活用し、事業所の機能や活動状況を地域に発信していく

			ントを開催することも考えていけばいいのでは。←コロナ禍で、開催しづらい時期ではあるが、今後落ち着いたら、検討していきたい。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者や家族との話しの中で出た、希望することをケース会議で話し合い、どのような関わりを持てば実現できるかを検討する。	独居の方の訪問時に、近所の方からその方に対する心配事を相談され、ご近所の見守りの中で暮らされているのを実感した事例があり、今後もご近所付き合いを意識した関わりを実践していきたい。	コロナ禍で地域のイベントがほとんど開催されない1年だった。ご利用者は、日頃出かける機会が少ないばかりで、季節を感じてもらうためにも、ドライブ行事を何度か取り入れるよう心掛けた。庭が無く、玄関前はすぐ国道という外に出て散歩が出来にくい周辺環境のため、例えば、車で近所の広場まで移動し散歩するという活動も視野に入れていく	ご利用者の状況に応じて、その地域の民生委員や近隣住民とも積極的に連携を図っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の中で頂いた意見等を職員と共有する。また、運営推進会議に職員が出席できるようにする。	コロナ禍で、対面で会議を開催できたのが2回だけとなり、その他は書面での報告であり、各職員が交代で参加することは出来なかった。		小規模多機能というサービスを利用することで改善した事例などを紹介しながら、情報発信していくと同時に、委員との交流を深め、気軽に相談しやすい施設を目指す。
F. 事業所の防災・災害対策	兵庫県CGハザードマップや篠山市防災マップを参考に、防災・災害マニュアルを作成し、スタッフ全員が理解している。	災害防災マニュアル作成済み、土砂災害計画地区に位置しているため、次年度には、市から避難行動計画の作成を指示されており、作成中である。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ラジオの配布について ・避難する時に、車いすが必要ではないか？現在は何台あるのか？←2台 ・地域の防災訓練の情報などを知り、参加の機会を持ちたい 	地域の防災訓練の機会があれば、積極的に参加すると同時に、地域資源として災害時に協力できる活動について検討する